

心に残る文化財子ども塾 出雲市立荒木小学校

1. 活動の概要

5月28日（月）、出雲市立荒木小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、島根の歴史文化にふれてもらうため、三田谷遺跡、出雲国府出土の縄文土器・須恵器などを見せながら奈良時代の生活の話をしました。

その後、「奈良の大仏の巨大さと、込められた思い」をテーマに、はじめに奈良の大仏についてクイズを交えて説明しました。つぎに実物大パネルを組み立て、大仏パネルが完成したらみんなで記念撮影を行いました。

2. 活動の様子



考古遺物から奈良時代の生活や郷土の歴史について学習しています。



全員で協力して大仏パネルを作り上げていきます。

3. 活動を終えて

①児童の皆さんから

- ・ 大仏の大きさを実感できた。
- ・ 奈良の大仏を実際に見に行きたい。
- ・ 実際の作り方で大仏を作ってみたい。
- ・ 土器の種類についてもっと知りたいと思った。
- ・ もっとたくさんの土器を見てみたかった。
- ・ 土器に触ってみたかった。
- ・ 古墳パネルをやってみたい。

②担任の先生から

- ・ 大仏の大きさを実感することで、大仏建立の計画の壮大さ、こめられた願いの深さなどの理解が深まった。
- ・ 提示された資料が小さく見えにくかった、学校の方で書画カメラ、プロジェクター、スクリーンを用意できるので投影されるとよいと思いました。
- ・ 授業の進度にちょうどよく、興味関心をもって活動できた。
- ・ 大仏の大きさが実感できた。手の大きさがわかり、自分の背と具体的に比べられてよかった。
- ・ みんなと協力して作業や片づけができて良かった。

③古代出雲歴史博物館から

レプリカやクイズでの学習や体験を通じて、大仏や奈良時代、そして地域の歴史へ興味を持ってもらうことができたのではないかと思います。大仏パネルが完成してから、大仏造立や大仏に関する豆知識などの解説をしましたが、時間の都合で十分な解説をすることができませんでした。また、事前に指導案の提示や打ち合わせをきちんと行えていれば、資料の投影もできたかと思います。今後は解説で使うパネルや内容などを工夫して、さらに分かりやすい内容にしていきたいと思います。